

果樹



12月・R5年1月の柑橘園管理



果樹
木蜜 栄次
上島営農指導センター
080-1759-0088

1. 病害虫防除

	対象病害虫	防除時期	農薬名	希釈倍数	使用	収穫前使用可能日数
温州	貯蔵病害	収穫前	ベンレート水和剤 混用	4,000倍	2回以内	前日まで
			ベフラン液剤	2,000倍	2回以内	前日まで
	越冬害虫	12/下~1月/中	ハーベストオイル	60倍	—	—
中晩柑	貯蔵病害	収穫前	ベンレート水和剤 混用	4,000倍	2回以内	前日まで
			ベフラン液剤	2,000倍	2回以内	前日まで
			ベフトップジンフロアブル	1,500倍	2回以内	前日まで

※ベフラン液剤とベフトップジンフロアブルは同成分を含むため合わせて2回までの使用となります。

2. 施肥、葉面散布

○通常タイプ

対象品種	肥料名	施肥時期	10a当たり
温州ミカン	ハイヤ1号	収穫後	4袋

○収穫が終わった品種は樹勢回復対策を行きましょう。

資材名	使用倍数	備考
尿素 又は 神協スピリッツ 又は アミノジューシーN14	500倍	いずれかを使用し、収穫後3回以上集中散布を行きましょう。

5. カンキツのへた落ち防止対策

収穫から長期間貯蔵を行う品種では、へた落ち防止の為散布を行きましょう。
また、すでに河内晩柑等でマデックEWを使用された園では使用する事ができませんのでご注意下さい。

対象品種	農薬名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
かんきつ	マデックEW	2,000倍	20~10日前まで	1回

花卉



灰色かび病について



花卉
竹川 慶剛
上島営農指導センター
080-1729-1637

・発生の特徴

灰色かび病は寄生範囲が広く、ほとんどの植物で発生します。低温多湿を好むので秋口~冬の初め頃の気温がやや低く、湿度の高い、雨が多くて日照が不足しがちな時期に発生が多くなります。発病適温は15℃~20℃で結露時間が長くなると多発し、植物体表面やその付近が結露しやすい環境下で発生しやすい。

・被害症状

花、茎、葉が溶けるように腐り、さらに病気が進行すると灰色のカビに覆われ、同時に灰色がかかった粉(胞子)を多量に形成します。花では始め、花卉に水滴がにじんだ様な跡が付き、白い花では赤い斑点、色のついた花では白い斑点が多数生じます。病気が進行すると花が褐色になり腐ってきて、やがて灰色のカビに覆われます。

・防除方法

灰色カビ病は湿度を好むので水のやりすぎに注意し、なるべく晴天時に行います。そしてハウス内は風通しをよくして十分な換気をします。枯れた部分にも病原菌が残っているので取り除きます。病原菌は害虫の食害跡やしおれた花卉、チッソ過多により軟弱に育った植物組織などから侵入するので害虫を防除したり、肥培管理を適切にすることで予防できます。殺菌剤ではフルピカフロアブル、ボトキラー水和剤、エムダイファー水和剤、ポリオキシシAL水和剤等が花き類での登録があり、なるべく同じ剤は使わないようローテーションでの散布を1週間~10日おきに散布し予防します。

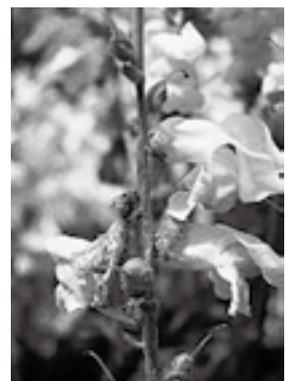
※農薬散布に葉害などありますので営農センターへお問い合わせ下さい。



トルコギキョウ被害



スターチス被害



金魚草被害

野菜



施設栽培における省エネ対策



野菜
宮内 勝幸
上島営農指導センター
080-2751-6373

		12	1	2	3	4	5	6
作 型	露地			○	○			■
	ハウス		○	○				■

*備考…○(播種)、■(収穫期間)

品種…ベストクroppキセラ

本圃の準備…土壌が肥沃で排水・保水性が良く耕土が深い圃場を選定する。

施肥…肥料は有機質肥料か緩効性肥料を用いる。また、追肥については開花時期から着果時期が最も肥料吸収が大きいため開花前5日頃より行う。

施肥量(kg/10a)

	窒素	リン酸	加里
基肥	13	20	13
追肥	10	10	10
合計	23	30	23

畦立て…30cm以上の高畦を作り、露地の場合は地温を上げるために黒マルチを使用する。マルチ被服を行う場合は土壤水分が適湿状態で行う。

播種…畦幅1.5~2m、条間40cm、株間35cmとし、1穴当たり2~3粒播き軽く覆土を行う。

発芽までは極力かん水を控え、不足気味であれば敷きわらを植え穴にかぶせやや土を湿らせる程度にかん水を行う。

*立ち枯れ病予防にタチガレン液剤1000倍を灌注する。

間引き…発芽後本葉2枚が展開した頃に1本に間引きする。間引き後は土寄せを行い株の安定を図る。

灌水…生育初期は乾燥気味になるためこまめに行い、生育が妨げられないようにする。開花時期頃より土壤水分が不足場合のみチューブで天候をみながら4~5日おきに灌水する。必ず晴天日の午前中に行う。

温度管理…
・昼間温度適温23~26℃
・夜間温度適温15~17℃
・地温の適温22~23℃

誘引・摘葉…誘引は必ず行い、光線の確保と養分の転流がスムーズに行われるようにする。

混み合う葉や病葉、老化葉は早めに摘葉を行い株の内部に日光を当てる。1度に多くの摘葉を行うと草勢が低下するので注意する。

◎賦課金について

JAあまくさでは、組合員の営農の向上と地域農業の振興および、地域の生活及び文化に貢献するための事業にかかる経費の一部を、賦課金として組合員の皆様にご協力いただいております。

本年度も賦課金へのご理解とご協力をいただきありがとうございました。

JAあまくさの定款

第4章 出資及び経費分担

(経費の賦課)

第24条 この組合は、第7条第1項第1号、第6号、第7号（農業の目的に供するための土地の売渡し、貸付け又は交換の事業を除く。）及び第18号の事業並びにこれらの事業に付帯する事業に必要な経費に充てるために、組合員に経費を賦課することができる。

経費を賦課できる事業

(事業)

第7条第1項 この組合は、組合員のために次に掲げる事業を行う。

- 1 組合員のためにする農業の経営及び技術の向上に関する指導
⇒ 営農指導事業・広報誌およびカレンダーなどの発行
- 6 農作業の共同化その他農業労働の効率の増進に関する施設
⇒ 集送センター・ライスセンター・土壌分析センター
農機センター・統合配送センターなどの運営管理
- 7 農業の目的に供される土地の造成、改良もしくは管理、農業水利施設の設置若しくは管理
⇒ 育苗ハウス・ミニトマト研修ハウスなどの運営管理
- 18 農村の生活及び文化の改善に関する施設（旅行に関するものを除く。）
⇒ 各支所等会議研修施設の運営管理